

# 赤潮診断カード

調査年月日	令和7年7月22日	8:30～	着色域なし			
調査者	遊子支所・水産研究センター					
出現状況	発生年月日	場所		発生範囲		
		遊子支所管内		下記の通り		
被害状況	-	プランクトン検査のため持込み				
種類 / 地点番号 採水層	①	②	③	④	⑤	⑥
	9.0m	9.0m	3.0m	7.0m	4.0m	5.0m
珪藻類	0	0	0	0	0	7
カレニア・ミキモトイ	23	930	38	240	165	31
種類 / 地点番号 採水層	⑦	A				
	5.0m	8.0m				
珪藻類	9	35				
カレニア・ミキモトイ	2	1,440				
単位はcells/mL						
指導状況	危険濃度を上回る、最大1,440cells/mlのカレニア・ミキモトイが確認されました。今後、細胞数の増加が見込まれますので、海色の変化に注意するとともに、餌止めを行うなど、魚介類の管理には細心の注意を払うようお願いします。					
	【危険濃度】 カレニア・ミキモトイ(赤潮原因種) 1,000cells/mL					

